

高2生の1年間

高校生活の充実期 ミドルステージ

指導方針

高校2年生という時期は、本格的な受験勉強を1年後に控え、基礎をしっかりと定着させる時期といえます。

また、とくに英語は短期間に伸びる教科ではありませんから、この時期にこそ基礎をしっかりと学習する必要があります。そして高校3年生の段階では、余裕を持って受験勉強ができる態勢をつくっておくことです。

トフルゼミナールの高2の学習は、1年を3つの学期に分け、春学期には基礎の定着、秋学期にはその運用力アップ、冬学期は確認演習を行います。

またこの時期には、間違いのない勉強方法や進路選択のために、カウンセリングを行いサポートしていきます。

L.H.プログラムの特徴

高2生のランゲージ&ヒューマンスキル(L.H.)は、
Reading & Vocabulary
Grammar & Writing
Listening & Speaking
の3科目が核となり、大学受験をはじめ各種試験に必要な総合英語力をバランスよく身につけることを目指します。

R & Vでは英文読解と語彙の拡充のほか、内容を深く掘り下げて考える力を養います。G & Wでは英文法の本質的な理解とそれに基づく書く力を養成します。L & Sでは大学受験で必要性が高まる聴く力や話す力の基礎を作ります。

上級者はL-4、中級者はL-3、基礎から学びたい人はL-2など、英語力に応じて適切なレベルで受講できるのも、学習効果を高めるための特徴です。



L.H.の目的 ~ 高3へ

L.H.プログラムは「ゆるぎない英語力」を構築する目的があります。現在の大学入試が、英語の基本4技能習得を課していることからわかる通り、単なる試験傾向の対策だけだと、異なった傾向や慣れてしまった形式以外では対応できないことがよくあります。

高2や高1で、土台からしっかりとした英語力をつけることによって、志望校を限定しない幅広い知識や考え方が養成できるため、高3生になった時点で難関大を見据えた一層高度なスキルを身につけることができます。東大や一橋などの国公立や早慶上智対策などを、早い段階から具体的に開始することができるのがプログラムの目的です。

フォローアップチューター

学校行事や中間・期末テスト対策で授業をやむを得ず欠席した場合は、担当の先生にいくらでも質問することができます。

また、チューターが家庭教師のようにマンツーマンで休んだ箇所の補講を行います。チューターは全員トフルゼミナールを卒業し、審査に選ばれた現役の大学生で、授業のバックアップだけでなく、高校のテキスト補習もお手伝いします。さらに自分の体験を通じた学習法のアドバイスや大学生活についてなど、たくさんのお話が聞けるでしょう。

このようにトフルゼミナールは、忙しい高校生でも無理なく学習が進められるように、生徒一人ひとりをしっかりとバックアップしていきますから安心して通うことができます。

クラブ活動や高校行事と予備校での授業を確実に両立していく...トフルゼミナールだけのメリットです。

クラス編成

高2生クラスは、春学期(4月~7月)、秋学期(9月~12月)、冬学期(1月~3月)の3学期制となっています。入学時には選抜テスト・自己推薦・クラス編成テストなどにより適正クラスで学習をスタートし、秋学期からは実力テストなどによって、それぞれ成績を考慮したクラス編成を行います。そのため、常にレベルに合ったクラスで学習することができます。また学期途中でも、担当講師のアドバイスやカウンセリング結果に基づいたクラス移動を行います。



e-Plusコース

高2生は最も忙しい学年です。こうした皆さんに、トフルゼミナールでは最低限(例えば週1日)の通学に加えて、自由な曜日や時間にWeb/Video講座で、プロ講師による講義や添削指導が受けられるプログラムがあります。

また、授業のある日には講師およびスタッフからの学習計画アドバイスやカウンセリングが受けられ、これらにより「やる気」を維持しつつ継続的な学習ができます。

実力テスト (7月・9月・2月)

英語の総合的な力を分野別に測るテストです。「読解」「文法」「語彙」「作文」「リスニング」の分野を含み、各自の長所や短所の明確化により、得点力を上げたり弱点を補強するための目安になります。

復習テスト

定着度をチェックするために、3~4レッスンに1回のペースで実施するテストです。実力テストと異なり、すでに学んだテキストに掲載されている文章や問題がそのまま出題されます。

ここで高得点を目標にすることが、予習・授業・復習のサイクルを確実に身につけるための強いモチベーションとなります。

*日程は変更される場合があります。

音声教材を上手に利用するのが英語上達のカギ

必修の英語読解教材には音声がつきます



校舎でダウンロードできます

英語をマスターした人のほとんどが、口をそろえて強調することは「英語の音声を大切にしたい」ということです。英語は人間の話す「ことば」ですから、文字の生まれる前にまず音やリズムとして存在していたものです。また、単語や熟語を覚えるのが苦手という人も、声に出して正しい発音・イントネーションとともに覚えようとするれば、記憶にしっかりと定着していきます。いままで英語の発音やイントネーションをあまり気に留めていなかった人も、この音声を上手に活用することによって英語の総合力を飛躍的に伸ばすことができます。英語音声は本物の英語を身につける強力な手助けになります。また授業の中でも適宜使用していきます。「知識と音声」を融合したトフルゼミナールの授業をぜひ体験してください。

3 March	4 April	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September	10 October	11 November	12 December	1 January	2 February
<p>春期講習会開講</p>	<p>春学期授業スタート 入学オリエンテーション</p> <p>学習目標 授業を中心に予習・復習を十分にすることが重要です。学校と予備校の兼ね合いを考えながら、着実に歩む実力を蓄えましょう。</p>	<p>進学カウンセリングスタート スタディカウンセリングスタート</p> <p>進学カウンセリング トフルゼミナールの進学担当スタッフによるカウンセリングが行われます。学校と予備校の両立の仕方から、志望校対策、生活面での相談など、さまざまな質問に親身に応じていきます。これからトフルゼミナールで勉強していく上で心強い存在となります。</p> <p>スタディカウンセリング 本科授業開始直後にスタディ・カウンセリングが始まります。2年生になると学ばなければならないことが格段に増えますので、予習・復習の方法などで戸惑うこともあるでしょう。スタートでつまづいてしまったら、成績が伸びない原因にもなりかねません。実際に授業を担当している講師によるカウンセリングを通じて、最適な学習方法を学びましょう。</p>	<p>カウンセリング月間</p>	<p>第1回実力テスト</p>	<p>海外研修オプション</p> <p>学習目標 春学期の復習を行うとともに、秋学期以降の学習にスムーズに入っていくための準備期間です。夏期講習会は少し前伸びして高いレベルにチャレンジしてみよう。</p> <p>文法特別講座 学校行事や部活動などで授業を休んでしまった生徒のために、文法復習講座を無料開講します。また、休んでしまった授業の補講としてだけでなく、復習のために受講することもできます。</p>	<p>秋学期授業スタート</p> <p>学習目標 夏期講習会までに習得したことを実力としていく時期です。これまでに基礎力が完成されていれば、飛躍的に実力がアップが期待できます。</p>	<p>大学入試説明会 カウンセリング月間</p> <p>学習目標 学校の行事で忙しい時期です。とくに勉強があるそかに、また不規則になりがちなのでトフルゼミナール通学習慣だけは作っておきましょう。この時期の心構えが後々大きな差を生むことも忘れずに！</p>	<p>第2回実力テスト 進学三者面談</p>	<p>冬期講習会開講</p> <p>学習目標 春から学んできたことを、総合的にチェックしながら長所を伸ばし、短所を克服することが重要です。</p>	<p>冬学期授業スタート 文法特別講座</p> <p>学習目標 講義や演習を通じて完成度をチェックします。1年を振り返り、新年の目標を決める大切な時期です。</p>	<p>第3回実力テスト</p>

(高2生コースは2月第1週まで)